

新緑の丹沢勘七沢を遡る

記録 石川 誠

期日 2010年6月4日n~5日

参加者 L 山本彰 柴崎研一 永野嗣宜 杉本伸一 石川 誠 5名

6/4 山本車で柴崎、石川 杉本をピックアップし午後8時過ぎ横須賀を出発、横横道から東名高速を利用して秦野中井で降り、渋沢駅で横山さんと合流、横山車に先導してもらい、表丹沢県民の森駐車場に到着する。早速8人用天幕を張り、テントを張り終わると同時くらいに雨と雷が来て一段落。寝酒にビールと友人から戴いたワインで乾杯、明日の完登を期す。

6/5日 勘七沢入渓 7:45-F 5 10:15-花立 13:25-14:00 発-堀山の家 14:30-二俣 15:20 着

私が始めてこの沢に入ったのは、会の沢集中登山で昭和34年9月、その後何度か登っているが、明るいよい沢である。勝手知ったる勘七沢とは言え、会にとっては今年初めて入渓でもあり、私にとっても十数年ぶりでもある。

横山さんは、後沢乗越から栗の木道への散策である。

出合で横山さんと別れ7:45分入渓、しばらくゴーロをつめて最初の滝F1に到着。この滝は落差5m程度、水流の左を登って落ち口へ、続くF2は、右から水流横を登り、堰堤を越えてゴーロを歩き、F3(8m)へ、この滝の直登は左から滝寄りに水をかぶりながら登る、水は冷たいが、爽快でもある。F4は、2段の滝となって落差15mくらいか。

この上は沢も明るく開け、新緑が木漏れ日に映えている。大小の堰堤を越えて行くと目指す大滝F5が目に入ってくる。何度かこの沢を登ったがこの滝だけは強く印象に残っている。



昭和34年丹沢の沢集中で新人で初めての沢登り、ザイルで引っ張り上げられたのを覚えている。

トップは、永野君が絶妙なバランスで軽々と登っていくのが、素晴らしい。

後はロープが通った濡れた岩場を2.3箇所ランニングを取りながら後に続く、丹沢の沢登りの楽しさを



満喫する。その後には美しいゴルジュが続き勘七沢のフィナ

一レへと導いてくれる。水が無くなったガレを汗をかきなが三俣を過ぎ真ん中の沢を登って行くと大倉尾根の花立山荘の裏に飛び出す。小屋の親父さんから、もう沢登りのシーズンが来たかねと声を掛けられる。今日登った勘七沢は、うちのパーティー以外に遡行してくる人はなくてシーズン初めの静かな沢登りを楽しむ事が出来た。新人の杉本君も全装備新品で始めての沢登りにしてはバランスよくこなし、どんどん活動の場を広げて行って欲しいものである。

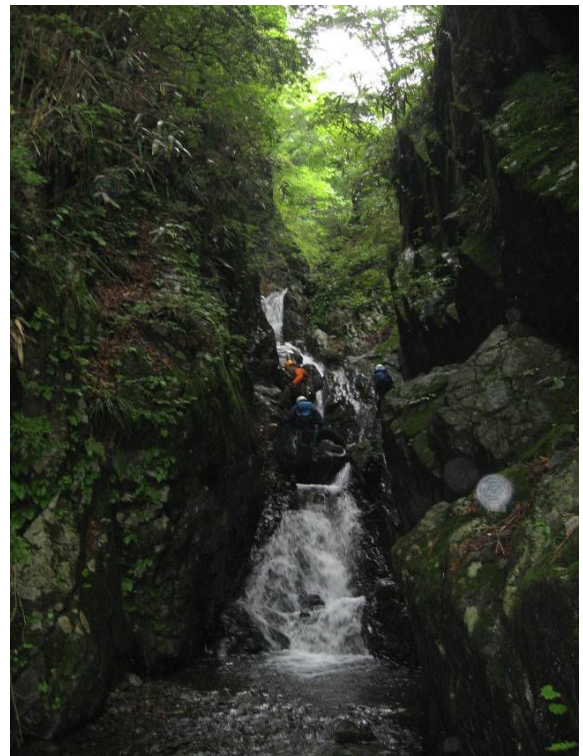
花立を出発して階段で整備された大倉尾根を下ってゆくと、途中で昨年お世話になった昭和山岳会の酒井国光さん（前日本ヒマラヤ協会会長）と会いしばし歓談、明日行なわれる丹沢ポッカ駅伝の手



伝いに花立に上がるとのことだった。堀山の家で休憩、二俣への道を右に辿り横山さんの待つ県民の森駐車場へ。その夜は渋沢にある横山さんの家で奥さん手作りの鰯の南蛮漬け、煮豆など美味しいお料理に歓待される。風呂上りの冷えたビールで乾杯し、昔話に華を咲かせる。今日の疲れにビールが心地良く回り私は失礼して早々に暖かい布団に寝させて貰った。横山さんご夫妻に感謝します。お世話になりました。横山さんは少し話しをしたかったようだがこちらは眠気が先に立ち話しもうつろであった。



F5をリードする永野



ゴルジュに行く